



報 館

玄洋136号

令和2年4月1日

発行

一般社団法人

玄洋社記念館

郵便番号 810-0062

福岡市中央区荒戸三丁目

6番36号

西公園ハイツ201号

電話 (092) 762-2511

FAX (092) 762-2502

玄洋社憲則

- 第一条 皇室ヲ 敬戴ス可シ
 第二条 本国ヲ 愛重ス可シ
 第三条 人民ノ権利ヲ 固守ス可シ

今号の主な内容

- ▽「西郷隆盛は征韓論者にあらず」再録Ⅱ 2面・3面
 ▽令和2年度賛助会費納入のお願いⅢ 3面
 ▽廣田弘毅先生顕彰祭の日程Ⅲ 3面
 ▽賛助会員芳名録Ⅲ 3面

福岡義士会

昭和10年から続く顕彰活動

興宗寺で「義士祭」

頭山満翁も名誉会長に

福岡市南区寺塚二丁目

の曹洞宗「興宗寺」で昨年十二月十四日、赤穂四十七士の義挙をたたえる「義士祭」が催行された。

興宗寺の境内には、東京高輪・泉岳寺の四十七士の墓をそっくり模した墓所がある。そこで毎年、義士討ち入りの、この日に開かれる「義士祭」は、福岡の師走の風物詩になっている。

献茶や法要、黒田藩砲術の演武などがあり、義士そばの無料接待は、来場者の人気を集める。運営するのは「福岡義士会」（鳥越玄会長）。



大石内蔵助の墓前で行われた献茶

同寺に近い「大池公民館」を拠点に、「野間大池」の水利権関係地域の自治会会長らで構成する。鳥越会長、庶務担当の志賀士会」が発足。「義士祭」

同会会員は、手際よく「義士祭」を実施する。来場者は千人を超え、市議会議長も区長も参加する「義士祭」は昭和十年に始まった。同市で金融業を営んでいた木原善太郎さんが「社会貢献に」と義士の墓を建てて顕彰することにした。同年、墓が完成し「義士会」が発足。「義士祭」

が行われた。会長は当時の久世庸夫市長。名誉会長が頭山満翁。久世市長も玄洋社の社員である。「義士祭」は終戦後の一時期、中断したが、昭和二十八年から再開された。



鳥越会長(左)と志賀館長

「廣田弘毅先生顕彰祭」

「筑前琵琶」 献奏は 寺田蝶美・新会主で



寺田蝶美・新会主

れた。

玄洋社記念館が毎年五月に斎行する「廣田弘毅先生顕彰祭」恒例の「筑前琵琶」による「廣田弘毅」の献奏は、昨年十一月十八日に急逝された「筑前琵琶保存会」前会主、青山旭子師に代わって、今年から寺田蝶美(ちようび)・新会主によって行われる。昨年十二月に就任された寺田会主は「会主として、私が引き受けます」と記念館の要請を快諾さ

琵琶の普及活動の一方で、西洋楽器とのコラボレーションなど多彩な演奏活動を展開している。また、福岡の歴史的な話を琵琶曲にしている。元福岡市長、故進藤一馬先生にまつわる「松原桜」の逸話を作詞、作曲したことも知られる。福岡市在住。四十九歳。

(3面)「廣田弘毅先生顕彰祭」の日程を掲載

西郷隆盛は

征韓論者にあらず

⑦

〔昭和六十一年四月発行「玄洋」特別号外版より再録〕

誤認の歴史を改めさす為に

〈6〉

葦津珍彦

〔前号から〕

七、わが国と欧米諸国

とは今も不平等条約で日本は独立国としての体裁もできていない。英佛のごときは、今も陸上に兵営を設けて駐兵をつづけている（駐、横浜など）。

まったく植民地のような状況にある。今の日本の外交では條約改正が方今の急務で、韓国問題などで戦役をおこすべきでない。

以上七条を列記して、結論として、

征韓などと云っても、今の全韓国の物品を取っても、戦費も償い得ないだらう。露国や清国は、謀略をもって、日本に対する国際干渉の禍いを誘

致するおそれがある、とした。

大久保は、韓国が無礼とか、非道を正すのに、礼節か、威圧かなどとの他者の論議とは、全く異なる立場から政治を見ている。

大久保は、経済の基礎のない政治を無力とする思想に徹している。そして外交では、韓国を見るのでなく国際情勢全般を見て、決すべきもので、

少なくとも現時点では英露（とくに英国）が干渉するチャンスとするかも知れないとおそれている。経済と軍事との「力関係」を見ての敏感なパワー・ポリティックスが、近代国家の政治原理

だとの思想が、明瞭に示めされている。しかして、そのパワー・ポリティックスの前提も、目標も「国家の利」である。かれは、その意見書の前提で、詳細具體的に政府経済の現実を力説して、最後に、全韓国を征しても、戦費を償うほどの国家利益もないと一蹴している。大久保は、まさに国利を相競っている先進列強の近代国家主義の政治哲学を、わがものとして、ビスマルク流の見識を固めたと云っている。

ここに大久保の新しい政治哲学がある。それは文治主義とか武断主義とか称せらるべき型のものではない。それは「国家の利」を確実に見定めて進むパワー・ポリティックスだ。

だから、征韓に反対したその直後にでも「現時点では国際干渉なし」との前提に確信を持てば、台湾征討の武断政策もやる。「今は、米英の條件われに有利」と判断すれば、明治八年には韓国江華島で、日本海軍が猛烈

な艦砲射撃を浴びせかけて砲台を沈黙させた。まず、武力の局地戦で戦力をしめし、その後で日本の要求どおりの日本優位の條約を締結させた。この時の大久保政権の進退は、二年前の征韓激派の板垣が、一大隊の兵を背景にして威圧外交をするというのよりも、よほど乱暴武断である。まず発砲して勝って後に外交に移るというのだから、板垣よりも遙かに武断外交では徹底している。大久保は決してこれを矛盾とは思わない。この時は列強が日本に同調するとの確信があった。これこそ日本政府が「国利」をもとめる国家主義路線を走り始めたことを意味している。

この大きな転機は明治六年晩秋に始まる。

西郷は、すでに渡韓使節として内決し、天皇の御内示まで得ていたの

三面へ続く

筑前風濤録

〈20〉

頭山満と玄洋社

柳 猛直

試練の時代

黒田長溥は薩摩の島津久光の如く蛮勇をふるうには、あまりに開明的であり過ぎたし、長州の毛利敬親の如く家臣の擅断（せんだん）を許容するにはあまりに自主性があり過ぎた。知恵の悲しみである。長溥の不遇ひいては筑前藩士の悲運の原因は、多くはここにあったようだ。

文久三年（一八六三年）二月、將軍家茂は江戸を出発、上洛する。これに先立って幕府が江戸で組織した護衛のための浪士団が京に上る。のちの「新選組」の母体になった浪士団である。

彼らは京都守護職の配下として京都の治安を守ることになるのだが、尊攘志士の掃討が主たる任務であった。

武州多摩郡の農民の出であった近藤勇（こんどう・いさみ）は、はじめは平隊士であったが腕も立ち人望もあったので激しい内部抗争の末、隊長として新選組を統率することになる。

文久三年の春から夏にかけて京都は長州藩と朝廷内の三条実美等、尊攘過激派の公卿の勢力が手を握り市中では長州系の尊攘浪士が頻りに暗躍していた。

この政治的狀況を一挙に覆したのが文久三年八月十八日の政変であった。

（この項続く）

二面から続く

た岩倉が頑として反対して聞かない。岩倉から強く依頼されて決心のついた大久保が、主として反対弁論の任にあたって、会議では堂々と西郷対大久保の論戦が主たるものとなった。鋭い討論の激しさに心痛して議長の三條公は卒倒失神する始末

である。しかし史上銘記されるべき大論戦には、もとより速記録はない。おそらく論戦の言語としては、これまでの会議の経過についての論も多かったと思われるが、論事の問題点は、西郷も大久保も、全勢力を投入して、自筆で書き残しているの

この時代の会議には多数決の会議規則もない。討議一致しなければ裁断をおおぐのみである。岩倉具視が、天皇に報告して、岩倉大久保案が採択されて、西郷特使の案は否決された。明治六年の政治的最大の課題であったに、西郷案を支持してきた副島、板垣、江藤をはじめ諸参議は、す

べて責任をとって辞任した。西郷も大久保も、この討議を通じて、たゞ当面の韓国対策のみでなく、日本の外交は、いかにあるべきか、国政の第一義は何であるかとの根本思想について、深い対決の解消しがたいことを痛感した。

(次号に続く)

令和2年度

会費納入のお願い

賛助会員の皆様には、日頃から玄洋社記念館の活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、玄洋社記念館

は、四月一日から令和二年度分の賛助会費の受け付けを始めさせていただきます。

出費多端の折ではありますが、何卒よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

【賛助会費の額】

▽個人会員 1100円
万

▽法人・団体会員 11

一口三万円

納入は郵便振込または銀行振込でお願い致します。振込先は次のとおりです。

【郵便振込】口座番

号01770112
0738

【銀行振込】西日本

シティ銀行赤坂門支店
普通預金 口座番号
0740047

宛名はいずれも「玄洋社記念館」です。

一般社団法人

玄洋社記念館

「廣田弘毅先生顕彰祭」

今年は5月16日に斎行

福岡市が生んだ唯一の総理大臣、廣田弘毅先生を顕彰する「廣田弘毅先生顕彰祭」を5月16日(土曜日)午前11時から斎行します。玄洋社記念館主催。場所は福岡市中央区城内5(福岡市美術館入り口)の廣田先生の銅像前です。(雨天の際は銅像向かい側、福岡県護国神社の参集殿で執り行います)参加費は千円。お問い合わせは玄洋社記念館(電話092・762・2511)へ。

賛助会員芳名録

▼個人の部

樋口 義則

(福岡県粕屋町)

皆川 明彦(さいたま市)

間地 陸人

* (福岡県宮若市)

(令和2年1月6日受け付け分まで・敬称略)

▼法人・団体の部

【三万円】

播州基礎興業(株)(姫路市)

建設コンサルタント

建設事業の計画・調査・設計・施工管理

ジ・アンドエス・エンジニアリング株式会社

会長 花田 和久

代表取締役社長 児玉 和久

本社 福岡市博多区東比恵三丁目二四一九

〒八二・〇〇七 電話 092・48113100

東京支社 東京都杉並区高円寺南一丁目三三

〒一六・〇〇三 電話(03)537815800

営業所 千葉・浦和・神奈川・山口・佐賀・北九州・大分・長崎

福岡鮮魚市場のコア企業!! 21世紀の水産業界を領導するアキラグループ

◇鮮魚卸業◇

株式会社 アキラ水産

代表取締役社長 安部 泰宏



本 社 福岡市中央区長浜3丁目11-3111
電話 092・71116601(代表)

関連会社/株式会社コウトク水産

株式会社 オー・エー企画

代表取締役 入江 秀雄

810-004 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

TEL(092)71118280

FAX(092)71118283

造園・緑化 自然とコミュニケーション

株式会社 別府梢風園

代表取締役社長 別府 壽信



本 社 〒815-005 福岡市東区青葉一丁目六・一五三
TEL 092・9169110・9169111
FAX 092・9169114・9169115
E-mail: info@shouten.co.jp

(財)日本医療機能評価機構認定

開放型病院・臨床研修指定病院

原土井病院

理事長 原 寛

〒813-8588 福岡市東区青葉6丁目40番8号
☎092-691-3881(代)
http://www.haradoi-hospital.com/

玄洋社関係史料の紹介

石瀧 豊美

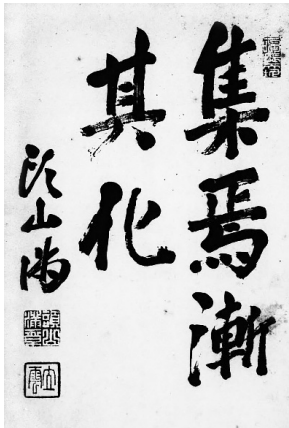
第78回

同時代から見た頭山満 ②

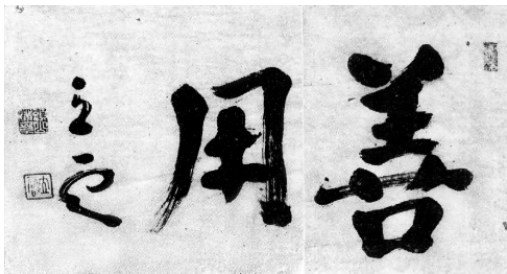
―書と人物―

今回は頭山満の書を口絵に掲載した単行本をいくつか紹介する。これらはいずれも国立国会図書館デジタルコレクション(<https://dl.ndl.go.jp/>)で公開されているので、パソコン上に画像を表示して誰でも読むことができる。頭山満の書への関心が主なので、本の内容には踏み込まないが、簡単に注記を加えた場合もある。

掛軸・扁額では由緒がわからず、書の制作年代も不明のことが多いが、単行本の口絵の場合は刊行年月日より前に書かれていること、それも多くは近接した時期であろうと推定できるので、書



①



②

順に。

①「集焉漸其化」黒

龍会出版部編輯『亜細亜大観』（黒龍会出版部、東京市赤坂区溜池町十一番地、大正七年六月八日）

言葉の典拠、読み、意味は確認していない。比較的バランスのとれた配置で、文字も端正に書かれている印象。

②「善用」 覆面浪人著『馬賊になるまで』（馬賊物語、前編）（後楽社、東京市神田区小川町四十二番地、大正十三年二月二十一日）

書の下に「馬賊とても善用すれば国家有用の材ジャ」という頭山満の言葉を載せている。

る。これも丁寧

に、かつ力強く書かれている。

題字頭山満翁のほか序文末永節先生・藤本尚則氏を載せる。本書は発禁本である。

③「心霊之偉力」 武田芳淳著『心霊之偉力』（日本心靈大学出版部、東京西巢鴨宮仲二二〇六番地、大正十五年一月廿八日）

ウィキペディアによると、作家武田泰淳の父大島泰信（浄土宗僧侶）の師が武田芳淳で、泰淳はその養子。書には書きがある。

④「日本魂」 原寅一著『土屋阿義士』（土屋阿義士銅像建設委員会、山形県鶴岡市家中新町丁二番地、昭和十一年四月廿五日）

阿義士とは土屋丑蔵・虎松。丑蔵は虎松にとつて兄万次郎の仇。文化八年（一八一）九月二十二日、鶴ヶ岡城下で虎松が仇討ちを挑み、共に負傷し、万次郎の墓前に場を移して、約束の上、差し違えて死んだ。銅像建設趣意書に「本邦

武士道の精華にして、全国復讐中唯一の美談」とする。丑蔵は万次郎、虎松兄弟の上の兄才蔵の養子。

⑤「義在正己」『日本橋紳士録』（日本橋紳士録編纂所、東京市日本橋区箱崎町四丁目一番地、昭和四年拾月参日）

「義は己を正しくするに在り」と読むのだろうか。「礼記」射義編に「射なる者は仁の道なり。諸君を己に正さんことを求む。己れ正しうして后（のち）発す」と言う（読み

は获生徂徠『論語徴』東洋文庫、一二五頁に従う）。これは弓について語ったもの。書の言葉は、義の実践も己を正しくすることが出発点というのだから。

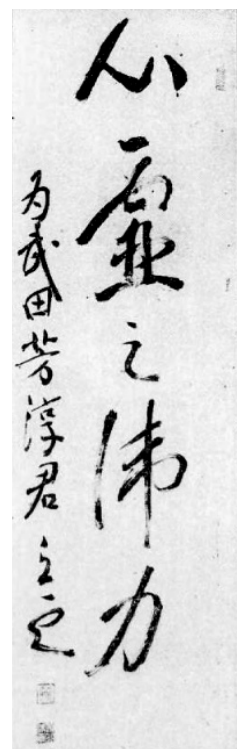
④「日本魂」 原寅一著『土屋阿義士』（土屋阿義士銅像建設委員会、山形県鶴岡市家中新町丁二番地、昭和十一年四月廿五日）

阿義士とは土屋丑蔵・虎松。丑蔵は虎松にとつて兄万次郎の仇。文化八年（一八一）九月二十二日、鶴ヶ岡城下で虎松が仇討ちを挑み、共に負傷し、万次郎の墓前に場を移して、約束の上、差し違えて死んだ。銅像建設趣意書に「本邦

武士道の精華にして、全国復讐中唯一の美談」とする。丑蔵は万次郎、虎松兄弟の上の兄才蔵の養子。

⑤「義在正己」『日本橋紳士録』（日本橋紳士録編纂所、東京市日本橋区箱崎町四丁目一番地、昭和四年拾月参日）

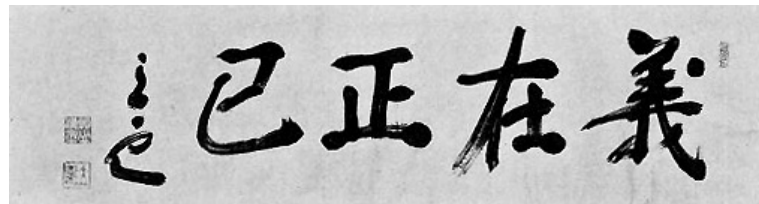
「義は己を正しくするに在り」と読むのだろうか。「礼記」射義編に「射なる者は仁の道なり。諸君を己に正さんことを求む。己れ正しうして后（のち）発す」と言う（読み



③



④



⑤